

## ◆ 今週のコメント

- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(男性, 40歳代)あります。本年の累積報告数は4例です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は不明です。
- ・ 梅毒(無症候(無症状病原体保有者))の報告が1例(男性, 20歳代)あり, 本年初めての報告となっています。推定感染地域は国内, 推定感染経路は不明です。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は, 8.61(353例)で, 前週8.68(356例)とほぼ横ばいとなっており, 過去5年平均値を上回っています。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数が0.37(15例)で, 3週連続で増加しており, 過去5年平均値を上回っています。例年, 6月頃から増加し, 7～8月にピークとなりますので, 今後の動向にご注意ください。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.41(58例)で, 3週連続増加しており, 過去5年平均値を上回っています。

## ◆ 今週のトピックス:<風しん>

風しんの報告が11例(男性9例(10歳代 1例, 20歳代 6例, 30歳代 1例, 40歳代 1例), 女性2例(10歳代 1例, 20歳代 1例))あります。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 149例(肺結核 80例, その他結核 35例, 潜在性結核感染者 34例)うち喀痰塗抹陽性 41例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類:梅毒(無症候(無症状病原体保有者)) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:風しん(検査診断例 6例, 臨床診断例 5例) 11例  
(第20週追加分 3例, 第17週追加分 1例, 第16週追加分 1例含む)【1月以降の累積報告数 75例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

| 定点              | 感染症名            | 定点当たり報告数 | 報告数 |
|-----------------|-----------------|----------|-----|
| インフルエンザ         | インフルエンザ         | 1. 16    | 79  |
| 小児科<br>(降順5位まで) | ① 感染性胃腸炎        | 8. 61    | 353 |
|                 | ② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 1. 41    | 58  |
|                 | ③ 水痘            | 0. 90    | 37  |
|                 | ④ 突発性発しん        | 0. 54    | 22  |
|                 | ⑤ 咽頭結膜熱         | 0. 37    | 15  |
| 眼科              | 流行性角結膜炎         | 0. 30    | 3   |

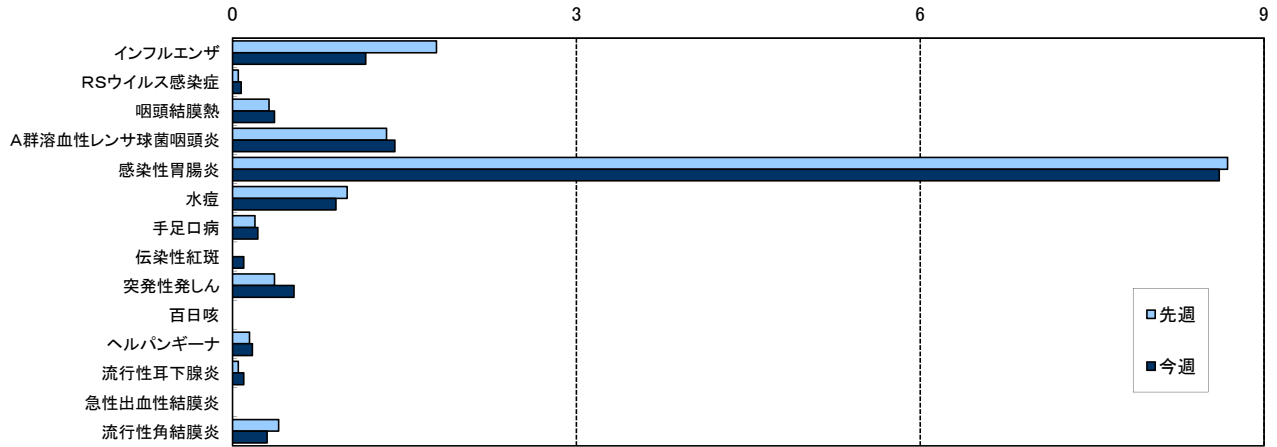
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<風しん>

(注)京都市のデータは, 平成25年5月30日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

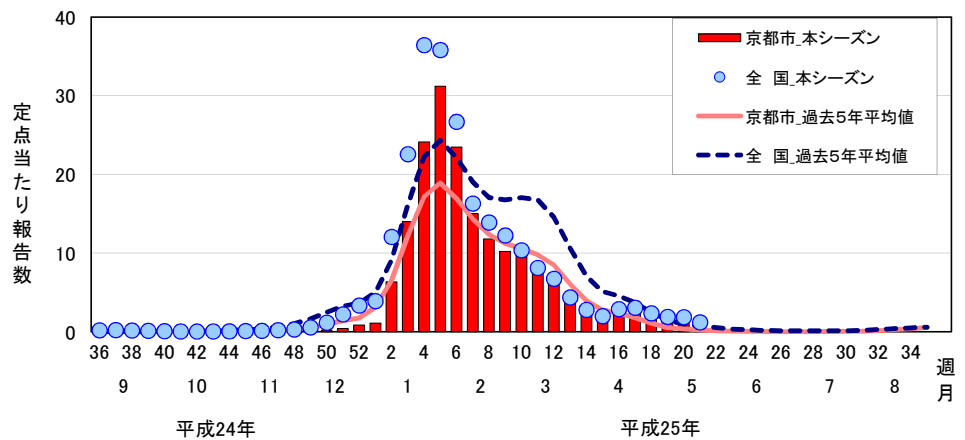
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第21週)と先週(第20週)の定点当たり報告数の比較



## 2 インフルエンザの推移

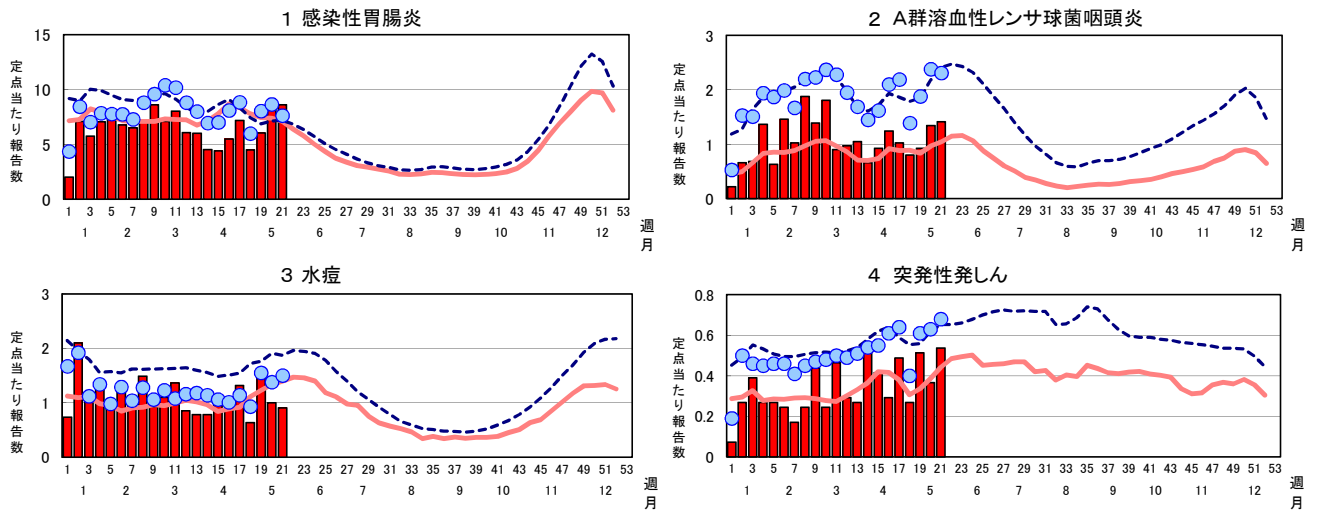
| 週                 | 報告数(例) |
|-------------------|--------|
| 第17週              | 174    |
| 第18週              | 109    |
| 第19週              | 110    |
| 第20週              | 121    |
| 第21週              | 79     |
| 累積報告数<br>(第36週以降) | 12,345 |



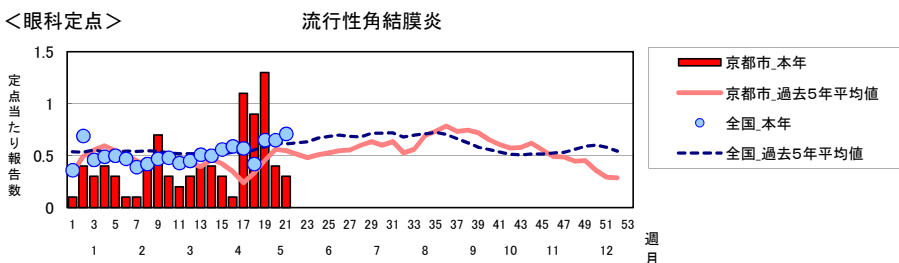
\*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



## 第21週(5月20日～5月26日)トピックス: <風しん>

風しんの報告が11例(男性9例(10歳代 1例, 20歳代 6例, 30歳代 1例, 40歳代 1例), 女性2例(10歳代 1例, 20歳代 1例))あります。第9週(2月25日～3月3日)から13週連続の報告です。本年の累積報告数は75例となっており、風しんが定点把握疾患から全数把握疾患に変更(平成20年)以降、最も多かった平成24年の累積報告数(26例)と比べて、約2.9倍となっています。全国の累積報告数も8,585例と平成24年(2,391例)と比べて、約3.6倍となっています。今後の動向にご注意ください。

京都市の性別年齢群別累積報告数は、男性 60例、女性 15例で、男性は20歳代～40歳代の報告数が多くなっています。女性は20歳代が7例と多く、そのワクチン接種歴は、なしが3例、不明が4例です。

京都市が実施するMRワクチン定期予防接種の協力医療機関については、下記をご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

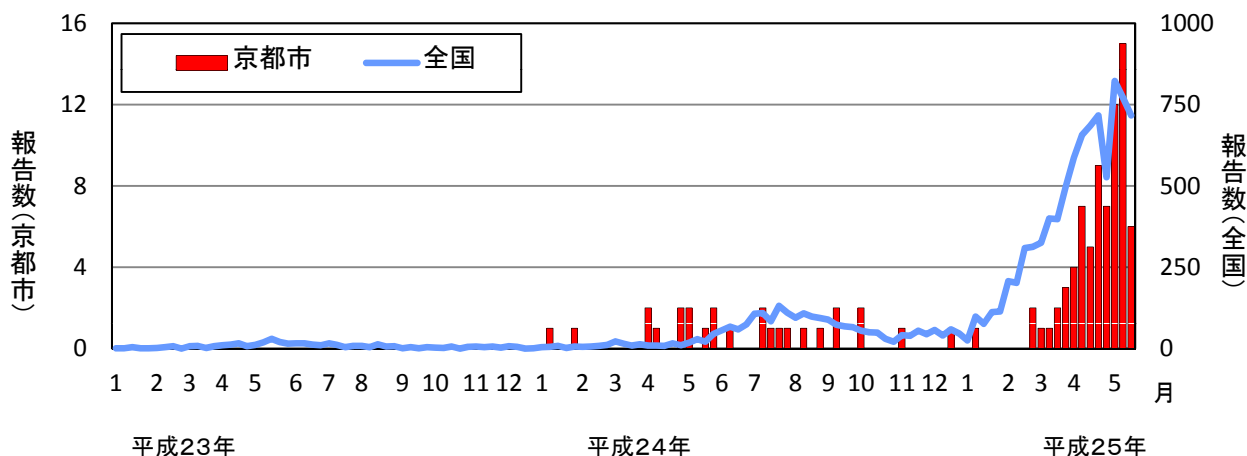
風しんの届出基準及び届出様式は、下記をご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

京都市及び全国の報告数の推移(平成25年5月31日現在)

|     | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年<br>( )内は第21週まで | 平成25年<br>第21週まで |
|-----|-------|-------|-------|-------|----------------------|-----------------|
| 京都市 | 1     | 1     | 0     | 0     | 26(10)               | 75              |
| 全国  | 303   | 147   | 87    | 374   | 2,391(234)           | 8,585           |

京都市及び全国の報告数の推移(平成25年5月31日現在)



平成25年性別年齢群別累積報告数

